



グループ全社が 事業創造に一丸

オリコンサルHD

オリエンタルコンサルタンツホールディングスは3日、第29回定例会を、ビデオ会議ツールとストリーミング配信により開いた。写真。約1200人のグループ役員が参加した。ビジョン・2025年中期経営計画の強化方針である「事業創造・拡大」、「人材確保・育成」をグループ全社が一丸となって推進するための場と位置付け、グループ

各社における重点化プロジェクトの取り組みを共有した。今回は、6件のプロジェクトの成果と今後の展開が発表され、活発な質疑とともに、出席した役員によるインターネット投票があり、「東南アジアにおけるスマートシティ開発の進捗と今後の展開・課題（北ハノイ、ルアンパバーン）」を発表した大澤四季さん（オリエンタルコンサルタンツグローバル）が最優秀賞に選ばれた。

最後に野崎秀則社長が「本日発表のあった重点化プロジ

エクト6件の先進的な取り組みを参考に、各自で一層の技術の高度化、総合化に努め、国内外の多様なフィールドで事業拡大を進めるとともに、社会に新たな価値を提供しよう」と呼び掛けた。